



「祈りなさい」

「テモテ二…1く4

牧師 安藤 脩

2017年の標語聖句を祈り求めている時、先ず示されたのは、次年の横浜岡村教会がどのような年になるだろうかということでした。大きく変わる年。変わらねばならない年であるということですが私は2年前、伝道者として歩んできて40年、横浜岡村教会に赴任して21年、一つの決心が与えられ、教会総会で表明したことでした。それは、岡村教会の伝道牧会を次の世代に託し、自分は無牧になつてゐる教会での奉仕をしようということでした。それは、周囲の状況から導かれた決断です。会堂建築をし、その負債を完済できたこと。自分が70歳になつて年金をもらえる年になつたこと等です。その時から後任者探しが始まりました。そして、昨年の後半になり、具体的な動きが出てきました。10月の拡大役員会で

2017年春号
 日本キリスト教団
 横浜岡村教会
 〒235-0021
 横浜市磯子区
 岡村 4-25-39
 TEL045(751)3917
 牧師
 安藤 脩

招聘委員会が組織されました。この牧師招聘という業は、最も祈りを要することです。それで、全体祈祷課題としても「良き後任者が与えられるように」との祈祷課題があげられています。今年、私どもの教会にとって、主の導きと助けとを最も必要とする年であります。

教会が変化してゆく時、それは教会が大きく動き、活発になる時です。でも、また、危険を孕んでいる時でもあります。なぜなら、場合によつては教会の体質が大きく変わることもあり、また、全員の心が一つにならなければ、サタンによつて乱されて、教会がばらばらになるといふ、教会の命取りにもなる危険性があるからです。だから、祈らねばなりません。

そのように導かれ、示されたのが今年の標語聖句「**まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。**」でした。私たちの思いと一致を乱すものを取り除かねばなりません。

パウロが伝道した時代は自由の無い時代でした。支配国ローマによる圧迫、国家宗教であるユダヤ教からの迫害がありました。だから、平穏で落ち着いた生活をするためにも、これら上に立つ人々のためにも祈らねばならなかったのです。現在の日本ではこのような形での圧迫、迫害はありませんが、何かと心騒がしい時代です。国粹主義的傾向、政治経済、汚染の進む将来を思うとき、不安材料が一杯です。真の平安は心が感じるものです。そしてそれは神から来ます。だから自分たちが落ち着いて、全ての人にキリストによる救いの福音、神の御心である真理を伝えるため祈らねばなりません。

まず自分の霊性と信仰のために。イエス様でさえ人として地上にある間は、ご自分のために良く祈りました。「キリストは肉において生きておられるとき、激しい叫び声をあげ、涙を流しながら、御自分を死から救う力のある方に、祈りと願いをささげ、その恐れ敬う態度のゆえに聞き入れられました。」(ヘブライ五：7) 又、パウロも霊的成長を祈り追い求めていきます。それが教会を造り上げることになるのだと言っています。でも一人で祈るだけでなく、心を合わせて信仰の友と共に祈ることも大事です。

証し

主に導かれて

秋保 寛子



神様の大きいなる恵み、イエス様の御愛、聖霊の御力に感謝いたします。

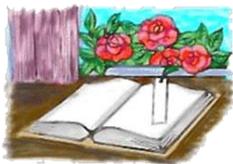
私は、1978年11月、今も同じ横浜に生まれました。母一人、子一人、無宗教の家庭に育ちました。現在は、そこに娘が加わり女3世代で暮らしております。こちらへ通うまでは、一度も聖書を手にしたことはなく、「教会」に対してかなりの偏見がありました。人生は一度きりだから自分の感性に従い、やりたい事をやる。人生は個人が持つ能力や努力によって豊かになるかどうかが決まり、常に「人」「物」「金」「情報」に敏感でなくてはならない。そう思う一方で、虚栄と恐怖の方が心の中でどんどん大きくなっていきました。目に見える部分では恵まれていても、私の心はずっからかん。毎日ザワザワ音を立てて揺れていました。親子関係も最悪なものでした。

2015年12月のある夜、なぜかはつきりと、「このままではずい。」と心が感じました。休みの日に娘と一緒に外に出掛け、いろいろな人の輪の中に入る

うと思ひ、見つけたものがゴスペルでした。さらに、心の在り方を変えることができる指南書はないかと、心理やスピリチュアルに関する本を探し読みました。手にしたどの本も、作者の考え方の根源はキリスト教にあります、と解説されていました。どうにも最近、キリスト教が私の中でブームのようだ。教会に行ってみれば人生のヒントが見つかるかもしれない。単純にそう思いました。

ある晩、娘と近所を散歩していると、突然、空に白い十字架の光が現れました。導かれるように進んでみると、そこは横浜岡村教会でした。なんとというタイミンがだろう。掲示板をみると、そこには、「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ十一：28～30)と書いてありました。「わたし、疲れているから来てもいいってことだ」と思ひ、自宅に帰ってからパソコンで教会のホームページを開き、訪問手順について調べました。「そのまま」でお越しください、という言葉が「ありのままに来ていいんだよ」と仰って頂けている気がして、教会に行くならこちらにしようと思ひ、お邪魔するようになりました。

安藤牧師による礼拝でのメッセージ、教会員の方々の交わり、聖書・特にローマ信徒への手紙「人よ、神に口答えするとは、あなたは何か。造られた物が造った者に『どうしてわたしをこのように造ったのか』と言えるでしょうか」(ローマ九：20)によって、自分の心の在り方が大きく変わっていきました。求める先は人や物ではなく自分を造った「神」にあること、その方を慕い従い生きる事こそが正しい道であり、人間の幸せなのだ。救いの確信は、告白式で罪が赦された時でした。「安心して行きなさい。」(ルカ七：50)と御言をいただいた、その瞬間、自分がこれまで体験したことがない、自分の中の領域をはるかに超えた、イエス様の愛を感じました。常にある心臓のザワザワがピタッと止まったのです。これからもいろいろな悩みや問題がでてくると思ひますが、今の私に恐怖や不安はありません。イエス様を信じその道を大胆に生きて行きたい、そのように思ひます。どうか一人でも多くの方がイエス様を信じ受け入れ、その愛を知り、救われ、心の平安が訪れますように。



佐野勇松・淳子御夫妻訪問記

2017年2月7日(火)

安藤 脩

佐野ご夫妻が昨年の9月、ご子息の
 からいで浜松に転居されて4ヶ月経ちま
 した。1月の総務部会で訪問したいと
 の話が、実行に移されました。行きたい
 希望の方はおられました。体調や車
 の片道3時間強の移動を考え、厳しさを
 覚え、私も夫婦のみになりました。

朝9時に教会を出発し、渋滞が厳しく
 て、ホームに到着したのは丁度午後1時。
 昼食の時間20分を加え、4時間の強行軍
 でした。その間、電話で何回か連絡を取
 りましたが通ぜず、お忘れになったか、
 どこかに出かけられたのではと心配しま
 した。でも携帯電話を見失っておられる
 ためだったと、お会いして知りました。

ホームのシャトー高丘の213号室に
 お伺いすると、「待っていました」とご
 夫妻がにこやかな顔でお迎えくださいま
 した。挨拶をし、週報や皆様からのお預
 かり物をお渡しした後、先ず、4人で聖



餐式を致しました。そして、私たちは教
 会の状況を話し、ご夫妻は今の健康状態
 や生活の有り方等をこまごまと話してく
 ださいました。何にも不自由はないよう
 ですが、食事も部屋まで持ってきて下さ
 るし、そのため、他の人との交わりがあ
 まり無いようでした。外出する事も少な
 く、浜松の教会へも数回しか行っておら
 れないようでした。でもお二人で聖書を
 読みデイポーションをなさっておられ、
 「当地での生活は神の国への準備かなと
 思っ、一日一日を過ごしています」と
 言い、横浜岡村教会の会員として今後も
 歩みたいとの思いを語って下さいました。
 いつのまにか3時間が過ぎていました。
 感謝の内に守りと祝福を祈りあい、名残
 惜しみつつお別れしました。



田崎民雄兄を訪問して

安藤 善枝

1月31日(火)田崎郁代姉のご主人の
 民雄兄を訪問しました。民雄兄は現在氷
 取沢にあるホームに入居されています。
 太っていた体も今はすっきりとして、
 とてもお穏やかな表情でホームで生活し
 ておられます。私達の名前は分かったか
 どうか分かりませんが、別れ際に
 私が「握手しよう」といって手を差し出
 したら、いつものようにギューっと手を
 握って、にっこりとしてくれました。





全員でハレルヤコーラス

今年は、家族と一緒に祝うクリスマス
をテーマに掲げ、各アドベント礼拝にフ
アミリーの讃美が捧げられました。



庭のイルミネーション



写真で綴るクリスマス
テーマ「家族と祝うクリスマス」



午後は、喜びの愛餐会！手作りの美味
しい料理が並びました。



今年はクリスマス礼拝で秋保寛子姉の
洗礼式があり、私達は本当に大きな喜び
で満たされました。当日は娘さんの綾乃
さんも来て下さり、感謝でした。



マリア会の手話讃美



カレブの会の讃美



わかえだ会のクイズ



ジュニア・チャーチの恵み

「信じる力」

JC父 国生 博志

時が経つのは早いものです。「岡村」へ越してきて2年。本当にあつという間です。「お休みの日には教会へ通つて下さい」という新しい学校の勧めがあり、家族で「教会めぐり」をしました。娘が通う教会を決めるために家族で初めての土地を歩いた記憶が鮮明にあります。

そして、横浜岡村教会に出会いました。安藤牧師ご夫妻のやさしく温和な人柄にひかれて、家族「満場一致」で決定しました。

さて、「信じる」とはどんな意味なのでしょう。か？①うそのないこと、まこと。②うたがわれないこと、途中で屈することなくまっすぐ進むこと、だそうです。

神を信じ、お祈りをする娘を見るにたびにその成長を感じ、安藤ご夫妻、教会スタッフの方々、ジュニアチャーチの仲間、そして「信じる力」にあらためて感謝致します。



ヤングクリスマス
キャンドルサービス



マリアとヨセフのさんび



羊飼いと天使達



今年はサックスの
伴奏が流れました



マリアとガブリエル



博士たち



最後のフィナーレ



ヘロデと祭司

イブ礼拝に参加して

JC母 水上 朱里

12月24日のクリスマスマスイブ礼拝に参加させて頂きました。

娘が横浜岡村教会に幼稚園の年長から通うようになり、我が家のクリスマスマスイブの夜の過ごし方が変わりました。美味しいお料理にキーキ、そしてプレゼントで祝うイブでしたが、イブ礼拝、ページェントを通して、目に見えないものに、目を向ける事ができるイブに変わったのです。

イブ礼拝のページェントは、子供の立派な姿に毎回感心します。子供達の心も優しく成長している事に感謝します。

神様の大きな愛を覚えて、私達も少しでも小さなことでも、誰かの為に出来る事を考えるクリスマス。クリスマスは愛を伝えてくれる良い機会

です。家族、お友達とお互いを大切に思う気持ち伝える機会でもあります。これからも、神様の愛に守られながら、成長する娘の心と身体を楽しみに過ごしたいと思います。



交換プレゼント



手作りケーキ

三教会婦人交わり会 に参加して



横浜菊名教会 伊藤 文字

毎年、三教会で持ち回りでやっている婦人の交流会が、今年は横浜岡村教会で行われました。3年前は大雪で中止になり残念でしたが、今年は立春の穏やかな日に、42名の方が参加する事が出来て感謝しました。開会礼拝は岡村の今年の標語について、安藤先生がお話し下さいました。ラング先生から受け継がれた「聖書信仰に立ち、伝道する教会」の姿勢を示され「心一つにして祈る事が最も大切である」と説かれました。2部は各婦人会の活動報告があり、岡村教会手作りの紙芝居「横浜岡村教会誕生物語」を楽しく観させて頂きました。これなら新しい方々にもその歴史が分かる事でしょう。これからも三教会の交流が主に在って続けられます様に祈ります。



清水ヶ丘教会 無藤 信子

一部の礼拝で安藤師より「執り成しの祈り」の大切さが話された。日頃、自己中の祈りと願いに心傾けている自分を反省。主から賜った愛と喜びを、まだ主を知らぬ人々に伝えるべく他者への執り成しの祈り、神様のご計画に全てを委ねる事の大切さを思った。

天窓から光溢れる礼拝堂から一階に移り、二部の交流の時に入った。準備されたテーブルの上には牧師手作りのケーキやサンドイッチ、スープが、牧師夫人作のランチョンマットに並び、素敵で楽しい昼食と各婦人会交流のひと時が持てた。最後の紙芝居でラング先生による三教会設立の歴史が理解できた。マリア会の御労と暖かいおもてなしに感謝した交流会でした。



2月4日(土) 午前の礼拝後に

担当教会として

横浜岡村教会 関口勢津子

婦人交流会は初めての参加で、しかも司会のご奉仕があるので、緊張していましたが、堅苦しさも余りなく、春の訪れを感じさせてくれるような、ふんわりした雰囲気の中で終始した会でした。本当に楽しいひと時を過ごすことが出来感謝です。

また三教会の姉妹の方たちが、個性溢れるお話しを交えての自己紹介の中に、お一人おひとりの信仰の歴史を感じ、感慨深いものでした。自分の教会だけで過ごす事が多い私にとつて、他の教会の方々から伝わってくる空気が新鮮に感じられ、血の流れが良くなったような、そんな気持ちになりました。また個々にお話しをお聞きして、もっと前向きに活動して行かなくてはとの思いも抱かされました。これからも神様の枝に連なる姉妹として支え合い、助け合い、知恵を出し合い、信仰の道を共に歩んで行ければと願っています。最後に、会にそそがれた神様の豊かな恵みを、心より感謝いたします。





★参加
子供31名 大人22名 計53名

年に一度の三教会の子どもの交わり会ですが、これからもさらに続けて行けるようにと共に祈りあいました。

沢山の讃美をし、安藤牧師からのメッセージを頂きました。午後は階下に降りて、お待ちかねの時です。それぞれの教会の紹介をしたあと、石川兄による「わくわく実験教室」の始まり！膨らませたふうせんを、ティッシュを使ってこすり、静電気でふわふわのひもを宙に躍らせるという、いままでしたことのない面白い実験でした。みんな歓声をあげながらの本当に楽しいひと時でした。



3教会
こども大会
2月19日(日)

2月19日(日)
天候に恵まれ、三教会のこども大会が横浜岡村教会で行われました。岡村では、前日から有志によつて準備が行なわれ、皆さんを迎える準備が整い、本当に感謝しました。

午前は礼拝堂で



子供達の声

- * 本日に楽しかった。
- * 今回初めて来たんですが、こんなに楽しい会だとは思わなかった。
- * 実験が面白かった。ふうせんがおもしろかった。
- * おかしがおもしろかった。
- * 2部の司会者がよかった。
- * さんが元気があってよかった。知らない曲もあった。すこしつかれた。
- * 3つの教会がいつしよになるっていいとおもった。

三教会牧師家族交流会

三教会交流委員 坂本 浩

三教会交流の交わり会の一つである牧師家族会が、2月13日に当教会信徒の堀内強美兄が経営する「とんかつ・さくら」で行われました。横浜菊名教会からは、愛澤牧師、清水ヶ丘教会からは、中島牧師夫婦、片平牧師、横浜岡村教会からは、安藤牧師夫婦、そして各教会の委員6名の計12名が参加しました。ボリューム満点のとんかつ定食や、ラーメンにとんかつがトッピングされている「かつめん」など、夫々が好きなものを注文。その後、各牧師家族の現況報告などがあり、和気あいあいとした雰囲気のとて楽しい会でした。



デザートは、安藤牧師手作りのアップルパイをいただきました。

3～5月 行事予定

3月

- 1日 レント(受難節)に入る
- 3日 世界祈祷日(聖アンデレ教会)
- 5日 J Cスタッフ・役員任職式
- 5日 新旧合同役員会
- 12日 J C表彰式
- 15日 三教会統一祈祷課題祈祷会

4月

- 2日 新旧合同役員会
J C進級日
- 9日 棕櫚の日洗足礼拝
- 6～7日 安藤師引越し
- 14日 受難日礼拝
- 16日 イースター礼拝
- 30日 教会定期総会

5月

- 5日 関東こころの友伝道講習会
於：清水ヶ丘教会
- 9日 三教会交流委員会(清水ヶ丘)
- 14日 J C母の日親子礼拝
- 25日 主の昇天日

(毎月第1主日 聖餐式、役員会)
(毎月第4主日 各会の定例会)



かるた会

重光 直実

2017年1月8日
(日)ジュニアチャーチ
では、礼拝の後、誕生

会で1月生まれの人をみんなで祝福した後、かるた会をしました。このかるたは、会堂移転前の3丁目の教会の思い出を忘れないように、みなで心に残っている事の俳句を作り、絵を描き、時間をかけて作り上げたものです。
子供達は、真剣にかるた取りに取り組んでいました。見ていると、本当にほほ笑ましくなりました。



私は、かるたの絵や俳句を聞いたりして、先代の梅沢先生との思い出が懐かしく思い出されました。

集会案内

◎イースター礼拝

4月16日(日)
A M 10 : 30 ~ 正午

楽しくイースターを祝いましょう
ご家族でおいで下さい。



◎J C母の日親子礼拝

5月14日(日)
A M 9 : 00 ~ 10 : 00

◎ペンテコステ礼拝

6月4日(日)
A M 10 : 30 ~ 正午

編集後記

横浜岡村教会は、大きな転換期の時を迎えようとしています。私は、安藤牧師着任三年目の時、受洗の恵みに与り、今まで共に歩きました事、主に心から感謝します。寂しさを覚えますが、共に喜びの新しい歩みのスタートの時なのです。
私達一人一人、主からの変わる事のない愛を受け取り、主が、全ての支配者として導いて下さる事を信じて歩みます。(T・M)

